

# どこでも安全な水道水を飲める水環境づくり

## 研究内容

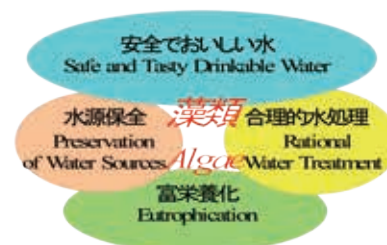
専門分野である水道工学に関するもので、

- A. 水源としての貯水池水質に関する調査研究
- B. 水中のプランクトンの浄水上の諸問題に関する研究
- C. 急速ろ過システムの高効率化のための基礎研究
- D. 発展途上国における水道の諸問題に関する研究

いずれも社会において水が最重要であるとの観点で、その水源の管理、浄水処理手法に関するテーマを研究し、それを日本のみならず、特に安全な水にアクセスできない国の人々にも還元できることを目指している。

## 地域・産学連携の可能性

水道は、世界の各地で必須のものとして社会基盤を支えている。水源は同じでも国や地域、自然や社会の環境により、事業や浄水、水質管理手法は異なり、安全性や快適性の追求に工夫を必要としている。地球温暖化に伴って降雨形態も変化し、高濁度対策も喫緊の課題となっている。これまで、貯水池の水源管理、藻類や高pHなどの水源水質に対する浄水対策をはじめ、水道事業の外部委託上の課題と対策、水道施設の耐震化の課題などで国内の水道事業者の課題解決に取り組んできた。さらに海外においては東南アジア地域の水道の課題と対策、タイやエジプトなどの海外の水道プロジェクトに参画して現地の課題解決に取り組んだ経験を有しており、現在もJICAの海外技術者研修の講師を務めている。要請があれば、国の内外、地域の大小を問わず現地に赴いて課題解決を支援したい。



安全でおいしい水のために、水中の藻類に関わる解決すべき課題



貯水池の富栄養化モデル



タイ国水道公社職員とタイ南部地方への現地視察旅行 (1989年5月)

このテーマに関連するSDGs開発目標



水道工学

今野 弘 KONNO Hiroshi

学長・工学博士

執筆論文

「水道-安心・快適な飲み水 (編著)」技報堂出版 2012 年、「日本の水環境 2 東北編 (共著)」技報堂出版 2000 年、「上水道における藻類障害 (共著)」技報堂出版 1996 年 など

KeyWord 浄水技術、水源管理、藻類障害